

「第8回鳴門地区生息環境づくりワーキング」が開催されました

「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」は、流域に飛来するコウノトリ・ツル類を指標とした生態系ネットワークの形成を通じ、多様な主体の連携による地域活性化及び経済振興の実現を図ることを目的に平成29年10月に設立し、令和2年度より「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」へと発展移行しました。

この取組みの一環として、第8回鳴門地区生息環境づくりワーキングを開催しました。

今回のワーキングでは、環境等について専門的な知見を有する方々が参加し、津慈地区における湿地づくりの設計となるポイントや、今後の管理・運営について意見交換が行われました。



- 1.開催日時：令和5年1月10日（火）15：15～17：15
- 2.参加者：協議会構成員及び徳島県内の環境等の有識者
- 3.開催場所：徳島河川国道事務所 2階 第一会議室
- 4.内 容：（1）津慈地区湿地づくりについて
（2）津慈地区自然再生事業地の管理・活用について



■第8回鳴門地区生息環境づくりワーキングの主な内容■

これまでのワーキングにより有識者の助言を得て、旧吉野川特有の水管理（三湛二落）による河川水位と、コウノトリの餌場環境となり得る条件を基に、湿地づくりの設計ポイント及び湿地イメージについて共有を行いました。

また、津慈地区における自然再生事業地の管理・運営とした河川空間のオープン化の活用については、数ある手法が提案され、手法ごとの管理・運営内容に対し、活発な意見交換が行われました。



意見交換の様子